

下水道事業会計

1 事業の実績

(1) 業務概括

本市下水道事業は昭和42年に着手され、既に40有余年が経過している。現在、管路の維持補修や延命化のための取組と併せて、危機管理的側面も含めた取組が進められ、本年度は浄化センターの耐震化工事や、雨水による浸水対策のための東櫛原貯留施設築造工事が行われている。また、平成27年度から城島・三瀨両地域において下水道の供用を開始するため、それに向けた整備が行われ、三瀨中継ポンプ場が本年度末に完成している。

施設及び業務実績は、次表のとおりである。

区 分	平成 26 年度	平成 25 年度	増減数	増減率 (%)
行政区域内人口 (人) A	305, 549	305, 214	335	0.1
処理区域内人口 (人) B	233, 545	226, 996	6, 549	2.9
水洗化済人口 (人) C	210, 818	206, 781	4, 037	2.0
普及率 (%) B/A	76.4	74.4	2.0	
水洗化率 (%) C/B	90.3	91.1	△0.8	
全体計画面積 (ha) D	6, 480	6, 430	50	0.8
処理区域面積 (ha) E	4, 695	4, 550	145	3.2
面積普及率 (%) E/D	72.5	70.8	1.7	
管渠総延長 (km)	1, 156	1, 114	42	3.8
汚水処理水量 (m ³) F	25, 876, 031	26, 091, 479	△215, 448	△0.8
有収水量 (m ³) G	22, 244, 821	22, 122, 858	121, 963	0.6
有収率 (%) G/F	86.0	84.8	1.2	
現有処理能力 (m ³ /日) H	103, 900	103, 900	0	0
平均処理水量 (m ³ /日) I	67, 423	67, 430	△7	△0.0
現在最大処理水量 (m ³ /日)	100, 815	92, 673	8, 142	8.8
施設利用率 (%) I/H	64.9	64.9	0.0	
職員数 (人)	55	54	1	1.9

(2) 処理人口及び普及率等の主な増減の内容

処理区域内人口は、毎年度増加を続け、本年度も前年度に比べて増加して、6,549人(2.9%)の伸びとなっている。

処理区域面積は、市全体の計画面積6,480haに対して4,695haで、前年度より145ha(3.2%)増加している。

普及率は、処理区域内人口普及率が前年度より2ポイント増加して76.4%、処理区域面積普及率は前年度より1.7ポイント増加して72.5%である。

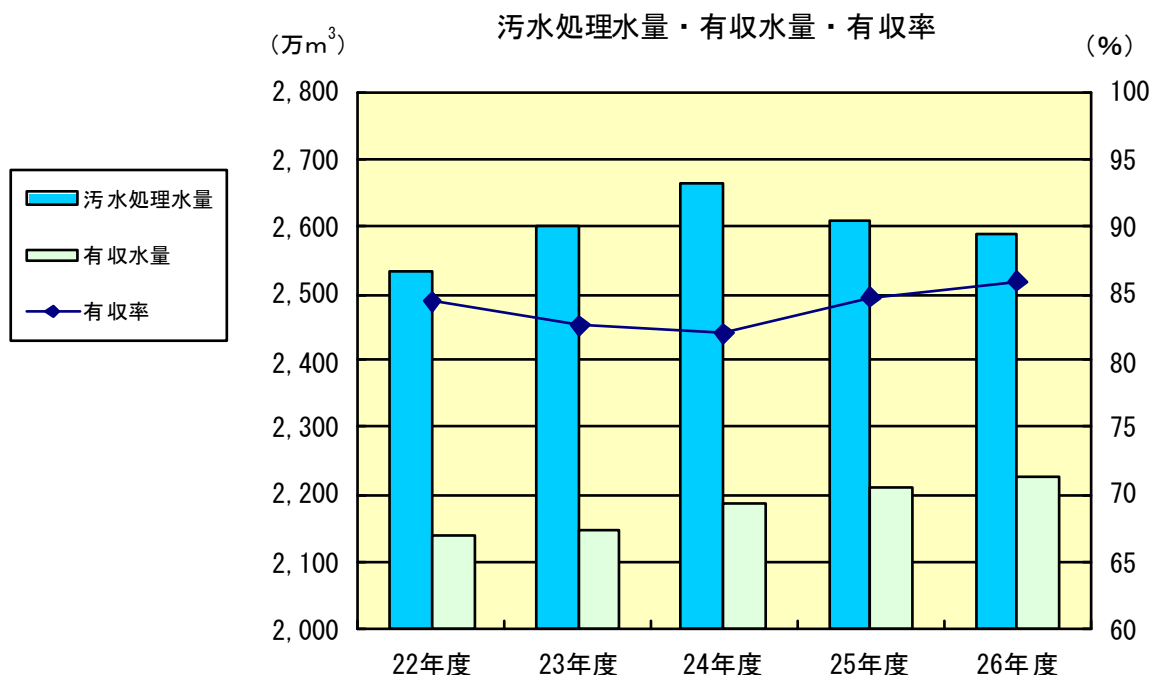
管渠総延長は、前年度に比べ42km(3.8%)増加して1,156kmとなっている。

施設利用率は、施設の持つ処理能力がどの程度利用されているかを示すもので、前年度とほぼ同じである。

(3) 汚水処理水量、有収水量及び有収率の主な増減の内容

汚水処理水量は、前年度と比較すると、215,448 m³の減で、平成24年度をピークに2年連続して減少している。有収水量は前年度より121,963 m³増加しており、これにより有収率は、前年度から2年連続で増加し、本年度は1.2ポイント増の86.0%となっている。

なお、年間汚水処理水量、有収水量及び有収率の推移は、次表のとおりである。



(単位：m³・%)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
汚水処理水量 A	25,319,777	25,987,857	26,631,557	26,091,479	25,876,031
有収水量 B	21,384,823	21,483,045	21,861,529	22,122,858	22,244,821
無収水量	3,934,954	4,504,812	4,770,028	3,968,621	3,631,210
有 収 率 B/A	84.5	82.7	82.1	84.8	86.0